

# 会 議 録

<b>会 議 の 名 称</b>	平成27年度第2回浅口市行財政改革推進懇談会		
<b>開 催 日 時</b>	平成27年7月1日（水）14時00分から16時00分		
<b>開 催 場 所</b>	ふれあい交流館「サンパレア」多目的室		
<b>出 席 者 及 び 欠 席 者</b>	<p>【懇談会委員】            佐藤豊信会長・田口桂一郎副会長・大橋徳子・奥慎二・畑恵太郎・            川手公彦・坂本眞一・佐藤正人・妹尾義信・守屋靖・山内悦子・            尾崎照子</p> <p>【事務局】            富田直弘政策課長・ほか政策課2人</p>		
<b>傍 聴 の 可 否</b>	傍聴可能	<b>傍 聴 者 数</b>	
<b>会 議 次 第</b>	1 開 会 2 協議事項 ・行政経営体制の確立（戦略ある組織体制の構築） 本庁・総合支所のあり方の検討など 1) 検討にあたって 2) 現状の把握 3) 組織・機能について 4) 来庁者等調べ 5) 業務別の状況 6) 職員アンケートについて 7) その他 3 閉 会		
<b>問 い 合 わ せ 先</b>	企画財政部政策課 電話番号 0865-44-9013 〒719-0295 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050 e-mail:seisaku@city.asakuchi.lg.jp		

発言者	内 容
事務局	<p>遅参者、後任者の案内。日程、資料の確認。</p> <p>【開会】14:00</p>
佐藤会長	<p>前回で前期答申を提出したところ。今回から新たな協議案件となるので、引き続きみなさんの意見をいただきたい。まずは事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>1) 検討にあたって2) 現状の把握について説明。 市の現状と11億円の削減について説明（おさらい）。 資料1より今年度のスケジュールについて説明。 資料2より本庁・支所の現状（p1）、交付税の減額（p2）、合併協議会（p3）、平成20年の機構改革（p7）、合併時の庁舎方式と特徴（p6）について説明。</p>
佐藤会長	<p>何を1番検討したかったのか。また、どういう現状を把握してほしかったのか</p> <p>11億円の考え方、説明の中に40億や140億といった数値が出てきたが、削減する割合は40億分の11億ということか。それとも140億分の11億か、もう一度説明を。 現状の把握では、本庁は新工事をしていて、寄島は新工事完了しており、金光支所のみが出していない。金光支所を建物として使用することであれば、耐震補強の費用もかかる。しかし11億円も削減されると言う財政的なものをバックにした中でのハード面から見た時の本庁・支所の在り方ということと言いたかったのか。十分に伝わってこなかった。</p>
事務局	<p>削減する11億の割合については次回までに確認します。</p>
佐藤会長	<p>自治体の予算の中の11億円のウエイトはかなり大きい正確な数字はわからないが、どこの市町村もこの問題に直面している</p>

事務局（部長）	予算のうち、支出が決まっているものは８８％、先ほどの割合はここから数値化していきます。
佐藤会長	次に現状の把握については。
事務局	それぞれの支所の維持費や耐震面の事を言わせていただきました。支所を小さなものに建替える、公共施設を活用し市役所機能をもっていけないかなど考えていきたいと思っている。市民サービスの低下にならないようにもってきたい。
佐藤会長	総合支所の配置職員が減っている。建物に使っていないスペースが増えているはず。行革では、建物を民間に売却し、その一部を役所が借りているような方法もある。ただ維持・管理・補修にもコストをかけなければいけないという問題もある。 このことについて、何か意見は。
奥委員	支所のあり方は縮小を前提に考えていけばいいのか。支所がやっている業務はどのようなものになっているか。ほとんどの業務は市民生活課となっているが、業務自体は減っていないのではないか。残すべき業務が見えない。
佐藤会長	今の質問については、この後に説明があると思う。
守屋委員	総合支所の「総合」という言葉が引っかかっている。
事務局	人員も減らし、本庁に吸い上げ、課も減らしたが基本的な業務は減らしていないので「総合支所」のまま使用している。
佐藤会長	今までさぼっていたのかという話にもなってくる。その辺りの弊害については３）で説明をお願いしたい。 続いて３）について説明を
事務局	資料３より本庁支所の業務（p 2）、教育委員会の業務と職員人数（p 3）、職員数（類似市との比較）（p 4）について説明。

佐藤会長	先ほどの奥委員の質問について、当初の職員数の根拠がないと回答にならないと思うが。
事務局（部長）	旧町の人口割合に積み上げをしたものになっている。基準というものはないが、ベースは人口割から始まっている。
佐藤会長	奥委員の残すべき業務という質問は協議事項4と5で説明があると思う。他に質問は無し。
	休憩 15:00～15:05
佐藤会長	協議事項4と5の説明を。
事務局	資料4より来庁者調べについて報告。 次第より年度比（p2）について説明。
佐藤会長	実態について説明があったが、実態からの特徴は。
事務局	窓口業務は近い方がいいとは思いますが、証明書の発行などは時期のものもある。
佐藤会長	事前に聞いていたが、気がついたところがある。来庁者の数は分かるが、そこからのビジョンがわからない。人数だけでなく、専門性が必要なのか、業務にかかる時間はどれだけなのか、など業務の種類分けをすれば職員でなくても対応できるのでは。例えば、その時期だけ臨時職員を雇用するなど。 民間なら雇用を増やすのではなく、多忙期のみ空いている部門から職員を動かしたりもしている。そのような考え方もできる。 その時期だけ支所を開けたりできるような そのようなアイデアが出せるような資料を出してもらいたい。
奥委員	機械でできるものは引き上げればいい。市民の話を聞いたうえで業務にあたるようなものは残しておくべき。窓口の対応にどの位のレベルを要するかという問題は、本庁とホットラインで聞けるという体制をとれば対応できるのでは。支所に何を残さなければならないかという

	<p>ものを厳選して、知識的なものや体制をどのようにするのかということを考えれば、簡素化でき小さな建物で対応できるのでは。</p>
山内委員	<p>10年スパンの長い期間で考えていくべき。</p> <p>これから考えたとき人口現象と少子高齢が進んでいると思う。そんななかでバスやタクシーチケットが有効か疑問に思う。民間ならどこでもインフォメーションがあるが、役所にもこれが必要になると思う。機械で対応といっても高齢者が使うことができるかは分からない。</p> <p>また、高齢の方の健康促進のため利用してもらえるような金光と寄島の分所は必要なのではないか。</p>
佐藤会長	<p>行政は縦割りになっている。いかに人という資源を効率的に使うためにはどうしたらいいか。忙しい時期に人を動かせるような体制を作っていくべきと思う。</p>
事務局（部長）	<p>部内では今のような制度があるが、現状活用数は少ない。</p> <p>応援体制の充実は今後考えていくべき。</p>
佐藤会長	<p>専門性が高いものは仕方がない。何年かかけて職員にトレーニングをしておいて移れる人を作っておくことなどもできるのでは。</p>
畑委員	<p>インターネットやスマホを使用して住民票等の取得ができるような話は進んでいるのか。</p>
事務局（部長）	<p>来年、再来年という話にはないが、時代の流れで必要性は高くなってくると思う。</p>
畑委員	<p>銀行の話では、ネットバンキングで入出金や振込み等が可能になり来店客の減少が見受けられた。フルバンキングから、個人特化店、出張所やATMのみにするなどして経費削減している。銀行と役所はまた違うがそういった方法で経費削減を考えてきている。</p> <p>人口減少、未婚率も聞いており、その辺りも含めてこの話も考えなければいけない。</p>

佐藤会長	他に意見は。
坂本委員	資料作成の時期の選定根拠は。これで年間を通しての傾向と合致するのか。例えば、税金を納める時期と納税に来る人達？を合理的に説明できるのか。
事務局	期間については来庁者が多いと予想された時期だが、この会議があることもあり、調べた経緯がある。この時期を狙った訳ではない。年間の数までは見てとることは難しい。
坂本委員	今後の展開はどのように考えているのか。
事務局	窓口証明発行業務は多いということは分かっている。皆さんの意見をふまえながら、本庁と支所の関係課で協議をさせていただいて、今後この席で結果を皆さんにお伝えしたい。
佐藤会長	では協議事項5の説明を。
事務局	資料5より職員の本庁支所のあり方アンケートについて報告。
佐藤会長	アンケートは参考程度にさせてもらう。
奥委員	現状のままでいいと思っている職員が2割、これには驚いた。6割が連絡強化でいいということにも疑問を感じる。職員のやる気があるか。
山内委員	改革をしていく中で職員の意識が同じでなければ、行政改革は成功ないと思う。 専門性があるものなら勉強してほしい。 「金光にとばされた」という言葉を聞いたことがある。これは差別用語だと思う。職員に「もっと浅口市や住民のために役に立ちたい」と思う精神面の勉強をしていただきたい。何に対しても、できない、できない、なら職員をやめたらいい。意識改革をしてほしい。

事務局（部長）	市長も同じように感じていた。 改革をしていくためには、連絡強化だけではいけないということは確か。先ほどのようなご意見をしっかり残して、すぐに伝えていきたい。
佐藤会長	企業も同じ。浅口市においてはリードする人を10%から11%にあげ、その人達のレベルアップをしていってほしい。20%にもなれば全国トップの行政組織になると思う。 次回は具体的な検討に入るということで、全体を通じて意見・質問があれば。
大橋委員	維持費とあったが、支所の空いたスペースを過去10年の中から活用するような話をしてきたか。
事務局（部長）	現在は倉庫で活用、書庫にもするようにしている。今後も空き部屋の活用をこの会議で進めていきたい。
大橋委員	合併した時に、会議室が広いのでギャラリー的なことをしたいとお願いしたことがあるが、土日などにも役所へ自由にに入れてしまうということで話は流れた。そういったことで維持費がかかるということであれば、他にどういったことが出来るか案があれば教えていただきたい。
佐藤会長	書庫とは。
事務局（部長）	歴代の書類が本庁では入りきらない。永年保存など保存期間が決まっている。合併により保管しなければいけない資料が膨大なので、寄島も金光も使わせてもらっている。
佐藤会長	捨てたり、電子化などをしてペーパーとして残さないように。空いたスペースを地域のビジネス等で使っていくようなことも考えていかなければいけない。地域の中でビジネスを興せるような使い方を。
事務局（部長）	寄島では中国銀行に活用してもらっている。本庁が旧町役場ということもあり狭いので支所に倉庫がわりとしてお願いしたいスペースも少しはあるということで現実問題としてはあります。

佐藤会長	他には。
田口委員	臨時職員の数は何人か。
事務局（部長）	現在約250人。
田口委員	能力のある臨時職員が1年でやめていく。もったいないし、正職員よりしっかりしている臨時職員が多くいる。このあたりを改善すべきでは。
事務局（部長）	正職員以外の臨時職員は50%以上いる。浅口市は特異な状態。正職員の予算を抑えるということもある。臨時職員というのは雑務的な補助的な業務をするということで、法律で任用期間が1年間ということが決まっている。 臨時職員1年、栄養士・福祉士・保育士・看護師で臨時職員の資格を持っている方は3年プラス2年で最大5年勤務することができる。 臨時職員1年の方を5年使うということは法律上できない。責任を持たせることもできない。そういったところで持たせる事務のさび分けをしている。
田口委員	そう言った問題ではなく、1年仕事をさせてみて拾って欲しい。臨時職員をしっかり見分けて、いい方は採用してもらいたい。
佐藤会長	中途採用という制度はないのか。
事務局（部長）	中途採用の制度はありますが、何人もとと言う訳にはいかない。補充程度。 一般職で事務職をしていた人の採用はない。特別職や資格職が主。
佐藤会長	人事制度も大事になってくる。 発言していない人もおられるが、時間になったので閉会のあいさつをお願いしたい。
田口委員	長時間の会議お疲れ様でした。 目の前に合併10周年を迎える中、浅口市も地方交付税の縮減により



<p>佐藤会長</p> <p>事務局</p>	<p>厳しい財政分野が盛り込まれている。 とりわけ本庁支所のあり方については重いウェートをしめている。 しっかりと議論して市民が納得のいくように。 次回の懇談会では市民サービスに直決した業務の具体的な内容について協議を行いたいので引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>答申の時期はいつ頃を考えているか。</p> <p>次回は8月末～9月頭に第3回を開催予定。答申については10月頃の第4回辺りで考えている。次回は金光町で開催予定。</p> <p><b>【閉会】 16：00</b></p>
------------------------	--